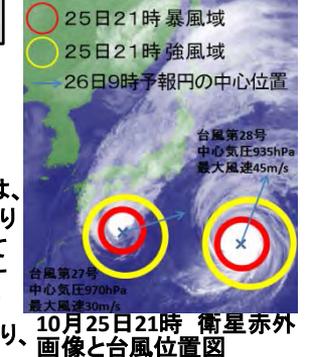
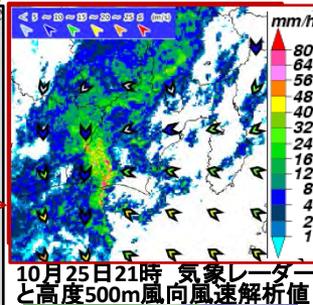
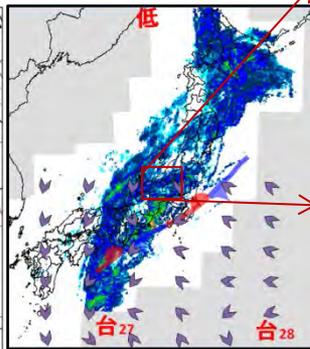
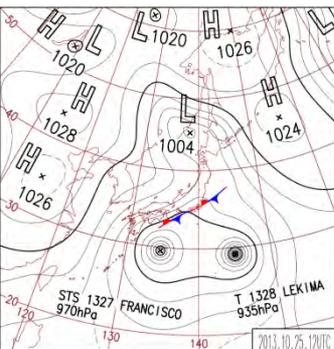


### 1. 気象経過

台風第27号は、25日21時には室戸岬の南にあって東北東に進んでいた、また、非常に強い台風第28号は父島の北東にあって北北東に進んでいた。さらに、日本海には低気圧、太平洋側沿岸部には停滞前線があって、これらの影響が複雑に影響し、静岡県周辺は、25日昼過ぎから南東からの暖かく湿った空気(暖湿流)と北からのやや冷たい空気との間で、南北の帯状域に積乱雲が発生、発達し、駿河湾の西側沿岸で強い雨が断続的に続いていた。台風の東進と共に南東風が強まり、この帯状の強雨域はゆっくりと西進し、停滞前線の接近も影響して、遠州南に達した強雨域には高度500m付近で相当温位\*1:340Kを超える暖湿流が入り、浜松市、磐田市周辺で激しい雨、非常に激しい雨が数時間降り続いた。

\*1相当温位: ある高さのネルギーを同じ条件下(1000hPa気圧面)で比較するため換算したもの。暖候期の高度1500m付近の相当温位の目安としては、330Kを越えると短時間強雨の可能性が高まり、340Kを越えると大規模な災害が発生するような大雨に警戒が必要となってくる。単位は絶対温度(K:ケルビン)



10月25日21時地上天気図

10月25日21時気象レーダー、擾乱位置図と高度500m風向解析値

### 2. 大雨の特徴

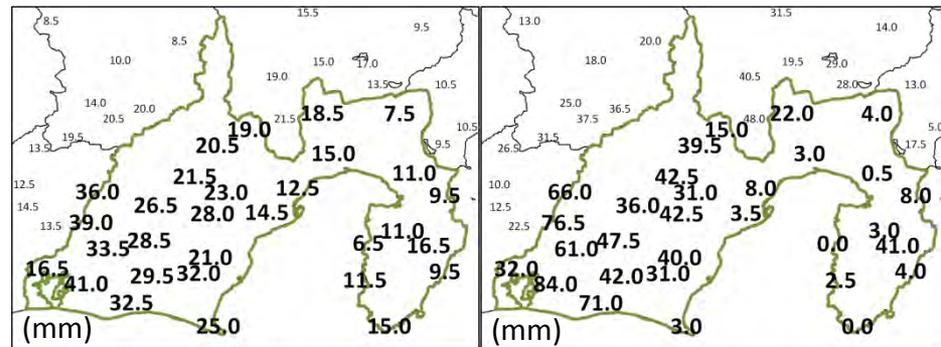
二つの台風は離れていたが、ある程度の影響を及ぼし合う。台風第28号が予想より僅かに東寄りを進んだため、台風第27号は、僅かに北寄りに進んだ。天気図では微々たる差だが、これにより予想を超える南東からの暖湿流が入り、前線の影響が重なって大雨となった。本年台風第26号による伊豆大島の大雨と類似する点も多い。もしも、台風第28号がさらに東寄り進むと台風第27号の東進速度が遅くなり、南北の強雨帯は、あと数時間留まり、記録的な大雨となった可能性もあった。互いの台風の影響は、予測できるほど顕著なものではなくとも、局地的に与える影響は大きい。遠州南では、南岸低気圧により、南北の雨雲が停滞する大雨がしばしば発生するが、概ね数時間で解消されることが多い。今回のように、台風がもたらす非常に暖かく湿った空気が引き起こす顕著な現象は油断できない。なお、類似の事例として、静岡県気象災害小史No58等がある。

### 3. 被害概要

	床上浸水(棟)	床下浸水(棟)	全壊(棟)	半壊(棟)	死者(人)	行方不明者(人)	重傷者(人)	軽傷者(人)	崖崩れ(カ)	道路(カ)	橋りょう(カ)	河川(カ)	砂防(カ)	鉄道普通(カ)
全県	4	13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部	4	13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
東部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊豆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

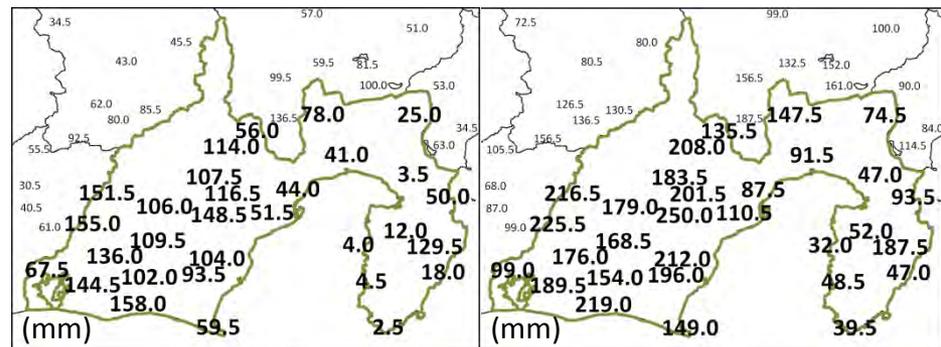
被害数は、静岡県地方気象台災害速報による速報値

### 4. アメダス雨量分布図



アメダス1時間雨量(正10分毎) 10月25日～26日の最大値

アメダス3時間雨量(正時毎) 10月25日20時～22時

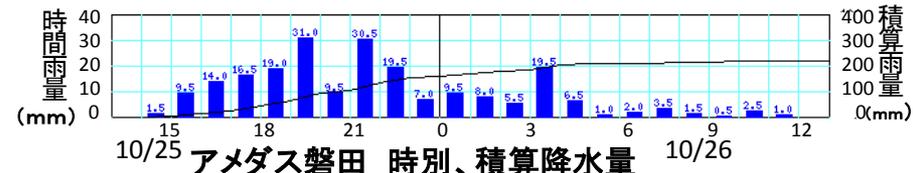
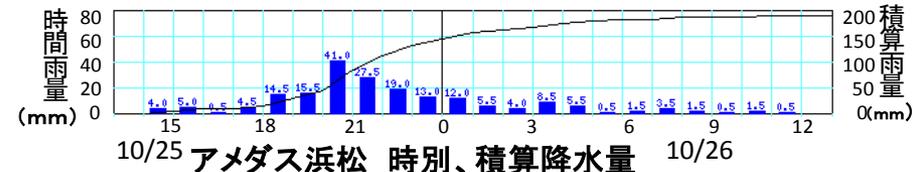


アメダス日雨量(正時毎) 10月25日

アメダス2日間雨量(正時毎) 10月25～26日

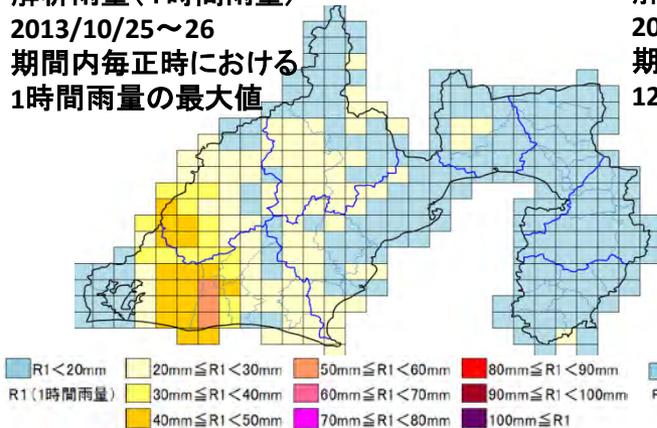
### 5. アメダス雨量時系列変化図

■ 時間雨量 — 積算雨量

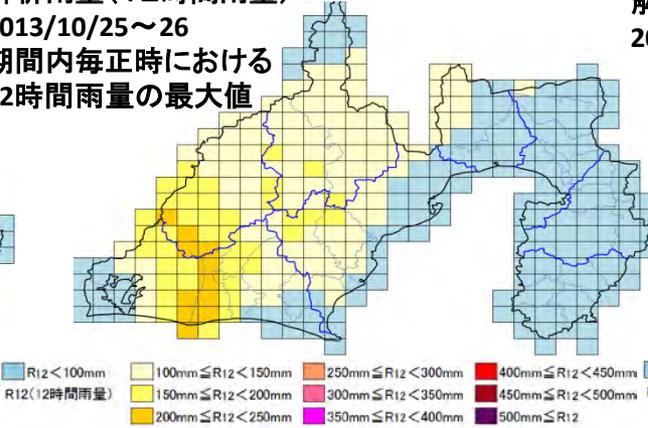


# 6. 解析雨量分布図

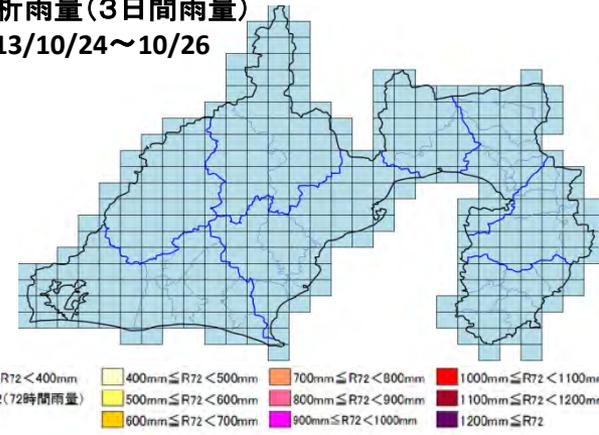
解析雨量(1時間雨量)  
2013/10/25~26  
期間内毎正時における  
1時間雨量の最大値



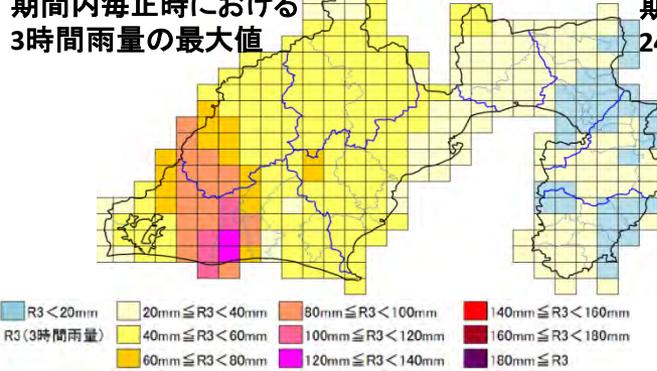
解析雨量(12時間雨量)  
2013/10/25~26  
期間内毎正時における  
12時間雨量の最大値



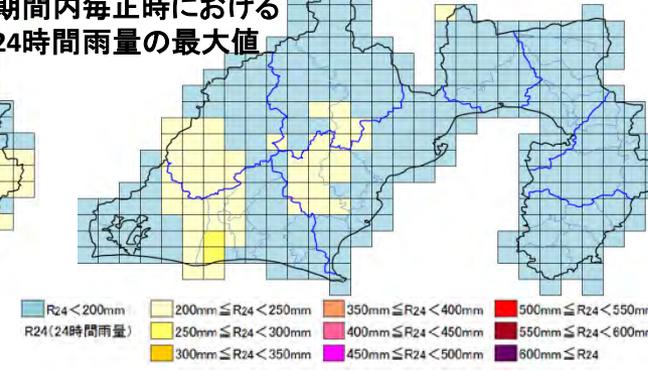
解析雨量(3日間雨量)  
2013/10/24~10/26



解析雨量(3時間雨量)  
2013/10/25~26  
期間内毎正時における  
3時間雨量の最大値



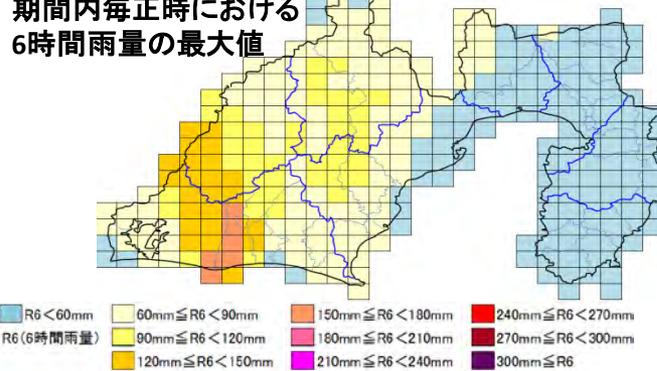
解析雨量(24時間雨量)  
2013/10/25~26  
期間内毎正時における  
24時間雨量の最大値



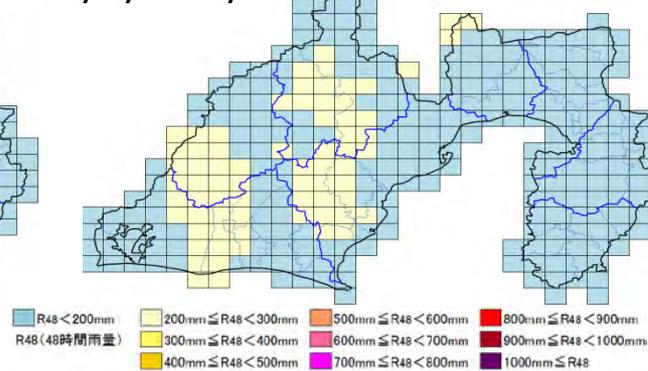
# 7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)



解析雨量(6時間雨量)  
2013/10/25~26  
期間内毎正時における  
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)  
2013/10/25~10/26



**解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴**

浜松市、磐田市を中心として南北に分布する強雨であったことがわかる。現象のピークとしては、3時間程度であったが、ピーク前にも50mm程度の雨が山沿いの河川の上中流域に降った影響も重なり、被害が発生した。